

日々相ふり

（津市を中心とする名所交通鳥瞰図）で、伊勢湾の上空から岩田川河口の景色を眺めてみた。

今昔、岩田川に渡し、岩田川河口の景色を眺めてみた。

昭和5年の鳥瞰図



津市を中心とする名所交通鳥瞰図（三重県ホームページ「三重の文化（三重ぶらり）」より）

（津市をめぐり、津港と対岸を結ぶ航路と渡船場が描かれていた。）

「おじいさんは岩田川の渡しをしていました。」

三味線たちの練習に、向かう道中、津興

昭和レトロな記憶

鈴木 茂基



津市のホームページに、長谷川素近（津の俳人）のエピソードが紹介されていた。

「夕方から乙部の自宅に集まっていた俳友たちと、涼を求めて海の方へ散歩に出かけた。賀崎海岸から新堀に出て、その渡しで岩田川

少し足をのびて、かつて花街として賑わった乙部を歩いた。「昔は三味線の音が聞こえていた」と思い出していたフミリーヒストリーである。

そして今、幼い頃、海水浴に行った賀崎の砂浜には「津なぎさまち」ができ、中部国際空港セ

「お爺さんの船で渡って、間瀬様と水晶の鏡を見ながら昔話をしてくましたよ、ありがとねー」

そうか、向こう側からハリモートでこちらが見えるんだ。

間（2日）で、驚くほど短い。

でも、この時間は自分次第で長くできるし、少しは長くできたと思う。

コロナ禍でなかなか帰りや県外移動ができないう状況が続くと、お互いの住まいがオンラインでつながっていると安心だし、映像を通してだが、会って話したような気分になる。

五七日（いつなのか）の頃、実家の庭の椿が咲いた。

（コクド鑑定・調査代表取締役社長、不動産鑑定士、ヘリテージマネージャー）

映画「浅田家!」と津市「ロケーションジャパン大賞」の最高賞ロケの受け入れを評価



津市を舞台とする映画「浅田家!」が、地域を盛り上げた作品とその地域を顕彰する「ロケーションジャパン大賞」の最高賞のグランプリに輝いた。

同大賞は国内の映画やドラマのロケ地を紹介する情報誌「ロケーションジャパン」を発行する（株）地域活性プランニングが主催するもので、今回で11回目。

「地域の変化が見られた」「ロケの受け入れに対し、組織的な対応ができる地域」などの条件で映画やドラマ、アニメ30作品のノミネートがあり、一般アンケートによる支持率、ロケ地行楽度、地元との協力度と住民の理解、作品による経済効果、観光客の増加などを基に選考された。

映画「浅田家!」は、

「伊勢の津七福神」結城神社で観梅祈願祭



津市の歴史ある神社の七福神を巡拝する「伊勢の津七福神」霊場会（坂倉賢芳会長）は4日（木）、福祿寿を祭る結城神社（津市藤方）で

津市出身の写真家浅田政志さんの写真作品集が原案。真宗高田派本山専修寺、阿漕浦海岸などがロケ地となった。市はロケ地マップを作成。パネル展を開いて観客動員を図った。（画像・主催者提供）

成美小で交通安全教室

シートベルトの大切さ学ぶ



津市交通安全対策会議が衝撃体験会のシートベルトの大切さを学ぶため、JAF三重支部（川喜田久支部長）の協力で体験会も実施した。児童たちは身をもつて時速5キロでの衝撃を体験し、あらためてシートベルトの効果を知った。

津市交通安全対策会議では、幼保、小中、福祉施設などを巡回訪問し、同様の交通安全教室を開いている。

自分と大切な人を守るために「防災」を!

第64回Ship Salon開催

健康で長生きするための環境を整えるサービスを提供・斡旋する（株）Ship Salon（津市広明町、井ノ口輔代表取締役社長）は10日（水）、津市広明町のホテルグリーンパーク津6階・アンテナを開設した。昨月起きた福島県沖を震源とする地震を受け、急きょプログラム

講師を務めた元県防災危機管理部長の東地隆司さんは、「今後30年以内にマグニチュード8.9クラスの地震が起きる確率は70%〜80%。確率はほとんど上がっている」と指摘し、「防災の話を聞いても、いい話やたなあって終わってしまう。今日の話を聞いて何か一つは必ずやってみよう」と呼びかけた。

津の海に最大の津波が来るまで約1時間とのシミュレーションがある。

「地域の津波の避難施設を知ってほしい。津波が来るといいう情報を聞いた、より高い所に早く早く逃げてください」と訴えた。

参加した人は「寝室の家具の配置について早速見直しをします」と話した。

同サロンは毎月1回開催。参加には入会が必要。サロン年会費は4万8千円（昼食代込）。入会は随時受付中。問い合わせは同社に電話059(22)6438。

次回は4月7日（水）開催。昨年「第1回竹あかり賞」で最優秀賞を受賞した、手灯り作家の川淵時平さんによる講演会。

高田高校の環境学習の成果大里小学校4年生が確認

津市一身田町の私立高田高校は、昨年度に（株）赤塚植物園の里山公園「レッスドヒル・サー」で植物の光合成実験を行い、その模様をまとめたビデオを市内の小・中学校に配布して環境学習を支援している。

2月18日（木）には、津市大里窪田町の大里小学校（増地陽一校長）でビデオを使った授業があり、4年

春の「マリアージュの会」27日(土)ミューゼ・ボンヴィヴァン

津市大谷町の三重県立美術館内の「ミューゼ・ボンヴィヴァン」(出口直希オーナーシェフ)が27日(土)午後6時〜7時30分、「マリアージュの会」を開催する。旬の食材を生かしたフランス料理とワインの絶妙の取り合わせを提案す

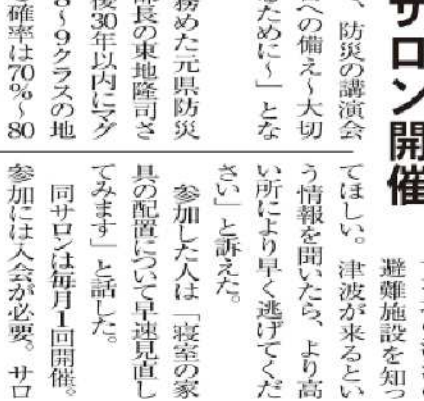
ールとフーテリスの「マリアージュ」。

ワインメニューは「ドメーヌ・フレール ラフィットロゼ」、「2015ラファージュ・カディレタ」(シャルドネ)、2014ラファージュ・ギヴサントネル」、「2016ラファージュ・ギヴサントネル」、「2014ラファージュ・レサズブルキュヴェレ」(2013ラファージュ・レサズブルキュヴェレ)、「2015ラファージュ・レサズブルキュヴェレ」。

※ワインは全て一杯グラスワインで提供。

問い合わせ&予約は同店に電話059(22)7070。

伊藤清和さん花・猫・犬を描く抽象と具象の幸福な邂逅



津市在住の画家・伊藤清和さんの作品展が2月24日(水)〜28日(日)、津市中央の三重画廊で開催された。同画廊では2年ぶり、15回目。

同展では花、猫、犬など、愛すべきものたちが、

特に花を扱った作品群は寒色と暖色で大きく画面を分割して、抽象を背負うようにして花が立ち、あざやかな色彩が見る人を引き付けている。



のロティ、ペコリーノのオイル漬けとソースピストウー春の「馳走仔羊」の種ワイン、「桜とスリートのロールケーキ、桜の蜂蜜のグラス」日本のデセ